

令和7年度 茨城県立水海道第一高等学校・附属中学校入学式 学校長式辞

入学おめでとう。先週の寒さのおかげで体育館の前の桜も入学式までもちました。あとで、いい写真を撮ってください。そして、高校1年生はここから義務ではない教育を受けることになります。中学1年生はまだ義務教育ですが、きみたちは自分の意志で中学受験を決め、高い倍率を突破して入学してきているのだから、もう義務なんて気持ちはないはずです。なので、高校生と同じ扱いをしますね。では、義務教育とその先の教育の違いはなんでしょう？義務教育は義務なのだからやらなければならないことが決まっています。それを脳内に、体内にインストールするのが義務教育です。そこに違和感を持ったとしても、飲み込むものは変わりません。だから、義務教育の優等生は自分から積極的に飲み込もうとする人です。このことを「自主性」と言います。それに対して、義務教育の先の世界は自分で選ぶ世界です。きみたちは高校に入るために試験を受けましたよね？みんなが高校に行くから仕方なく、とか、自分の学力的にこのへんだから、とかそんな後ろ向きな選択だったかもしれません。でも選んだんです。選んで認められたんです。そのことが大事です。これからは自分の意志で選ぶ、さらには自分の意志で行動することが求められます。このことを「主体性」と言います。「自主性」は、やらなければならないことを進んでやること、それに対して、「主体性」は、自分の意志で選び、動くこと。まったく違う概念です。きみたちが選んだ水海道一高および附属中学校は、この「主体性」を育てる学校です。知っていましたか？知ったうえで選びましたか？この学校に入ったら、具体的には3つの「主体性」を身に付けてもらいます。1つめは部活動や学校行事です。水海道一高の部活動は生徒が先生に顧問をお願いしに行くという形式をとっています。自分たちのやりたいことのために「先生、協力してください」とお願いして活動するのが部活動です。先生に感謝して主体的に活動してください。学校行事も生徒会と実行委員が主体となって考えて先生たちに許可をとりながら進みます。主体的に大いに楽しんでください。2つめは総合的な探究の時間です。この時間が高校のカリキュラムに導入されたのはまさに「主体性」を育むためです。なので、水海道一高では探究の時間にとっても力を入れています。自分の意志で選び、自分でテーマを決め、自分で動いて成果を出す。コンテストにも挑む。そのために7つのトラックと呼んでいる分野から1つを選んでその内容を専門性のある外部の企業の先生が教えてくれる独自のプログラムを用意しています。こんな学校は日本中探してもなかなかありません。ぜひこの時間で「主体性」を磨き上げ、発揮してください。3つめは勉強です。これまで勉強はやらなければならないからやってきたのかもしれませんが。ここからは何のために勉強するのか自分自身が納得してやらないと身につけません。高校の勉強はそのぐらい高度で難しいです。いい大学に入るためなのか、誰かに負けたくないからなのか、自分自身を高めたいからなのか、理由は人それぞれで構いませんが、納得することが大事です。僕自身、勉強することに納得したのは高校を卒業して、浪人した春でした。遅すぎです。でも、そこからは疑問を持たずに1年間勉強して東京大学に入りました。ものすごく大変でした。できるだけ早く自分なりの勉強する理由をちゃんと見つけることが大事です。義務教育ではない世界ではこのことに早く気づけば気づくほど高いところに行けます。いまの時代は納得できないままでもどこかの大学には入れますが、それがいいことだとは僕はまったく思いません。易きに流れないでください。以上、部活動・学校行事、探究、そして勉強、この3つの主体性が備われば、その先の人生、間違うことはありません。そのための高校生活です。附属中生はそんな教育を先取りすることができます。だから、想像のつかないぐらい高いところまで行っちゃってください。今日は最初なのでこの世の中の厳しめのところを中心に解説しましたが、きみたちがこれから過ごすのは人生で二度と来ない青春時代です。明日から主体的に青春してください。